



2025年度

引野77号線2号橋

福山市 引野町三丁目 地内

橋梁修繕工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計		
	工事延長	L=2.5m	
	橋長	L=2.5m	
	有効幅員	W=6.0m	
	断面修復工	A=0.53m ²	
	表面被覆工	A=12m ²	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（引野77号線2号橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黒板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 地権者への承諾

- ・地権者に官地内の境界杭等の有無を確認すること。境界杭等がある場合は工事完了後、復旧することとし、地権者が境界杭等はないと回答をした場合であっても、境界杭等の有無を確認しながら、施工しなければならない。受注者は地権者と現地で立会を行い、境界杭等の有無、位置等の確認を行うこととし、事前、事後に写真記録を行い、適切に管理すること。
- ・受注者は、工事着手に先立ち、地権者に民地への出入の位置を確認し、歩道切り下げ箇所、民地進入路の位置や勾配について監督員と協議すること。
- ・受注者は、街路樹を植樹する近隣の地権者に街路樹を植樹する位置等の説明を行い、承諾を得ること。

第5節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第6節 現場代理人の常駐義務

- ・本工事において、現場代理人は常駐しなければならない。なお、やむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

第7節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第8節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第9節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立ち入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第3節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
 - 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
 - 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
 - 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
 - 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
 - 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
エ 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
 - 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
 - 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第4節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 70 福山市 00-07.04.01(0) 1 公共(一般)	≪凡例≫ Co・・・コンクリート As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】	1	式			Y1G03240501 レベル4
断面修復工A(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1	構造物			S1020039 00 単第0 -0001 表
断面修復工B(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1	構造物			S1020043 00 単第0 -0002 表
表面被覆工	1	式			Y1G032406 レベル3
下地処理	1	式			Y1G03240601 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下地処理工（高圧水洗い） 時間的制約無 高所作業車無 1橋当り10m2以上20m2以下	1	橋			V0000000001 00 単第0 -0003 表
下地処理工（サンダーケレン） 時間的制約無 高所作業車無 1橋当り10m2以上20m2未満	1	橋			V0000000002 00 単第0 -0004 表
表面被覆	1	式			Y1K03040107 レベル4
表面被覆工（亜硝酸リウム系表面含浸材） 時間的制約無 高所作業車無 1橋当り20m2未満	1	橋			V0000000003 00 単第0 -0005 表
表面被覆工（高分子系浸透性防水材） 時間的制約無 高所作業車無 1橋当り20m2未満	1	橋			V0000000004 00 単第0 -0006 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1G032706 レベル3
コンクリート構造物取壊し 【構造物区分, 工法区分】	1	式			Y1G03270601 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	0.1	m3			SDT00031 00 単第0 -0007 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬処理工					Y1G032716 レベル3
	1	式			
殻運搬 【殻種別】					Y1G03271601 レベル4
	1	式			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)					SPK24040151 00
	0.1	m3			単第0 -0008 表
殻処分 【殻種別】					Y1G03271602 レベル4
	1	式			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート塊受入費 再生工場搬入					T9005 00
	0.1	t			
仮設工					Y1G0328 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1G032821 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G03282101 レベル4
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B					R0369 00
	6	人			
直接工事費 #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
工事原価					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報…… 対象額…… 率……					
工事費計					
契約保証費計					

図面番号	1 / 6	縮 尺	S=1:10,000
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	位置図	番号	
路線名	引野77号線2号橋		
工事箇所	福山市引野町三丁目地内		
福 山 市			

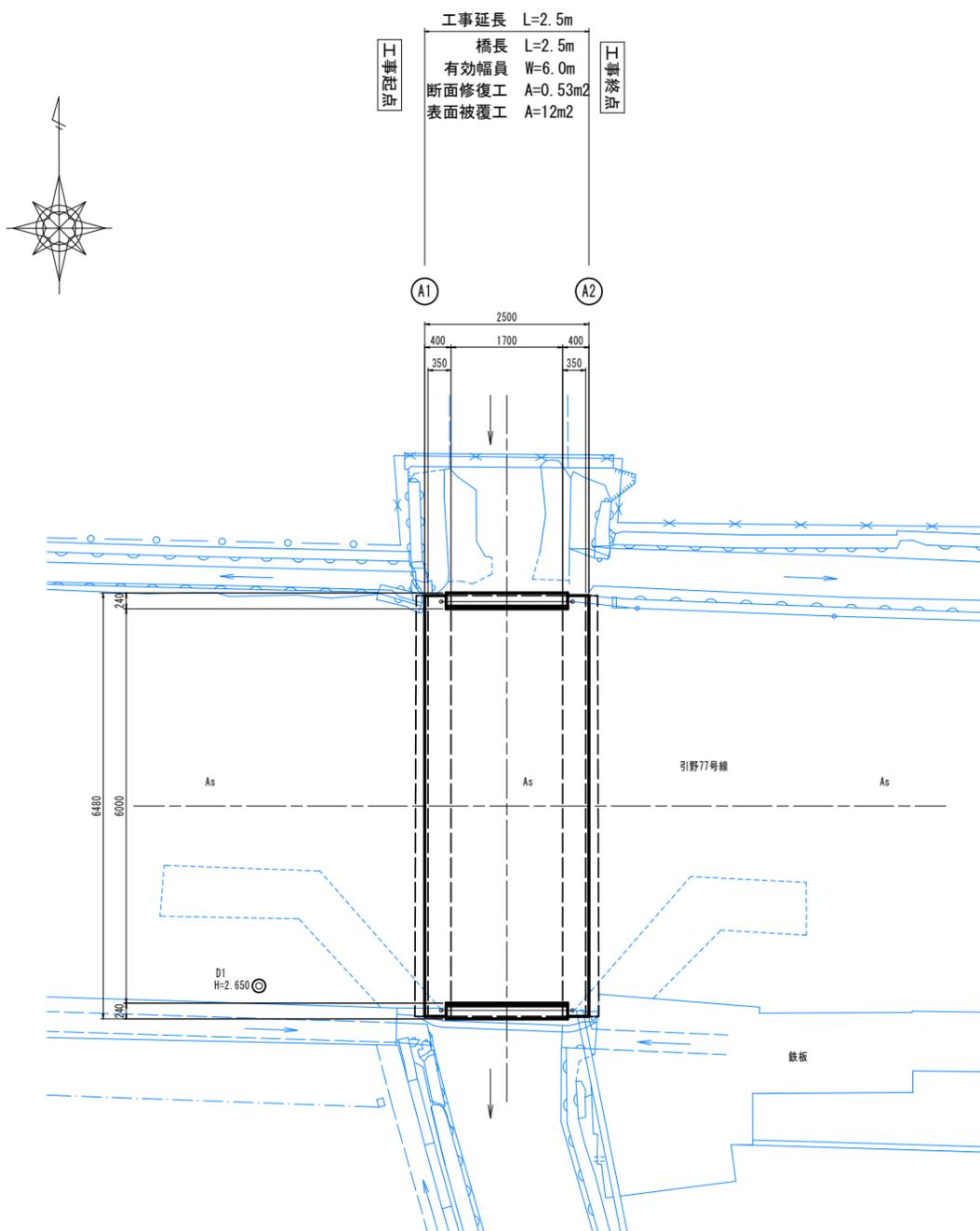


図面番号	2 / 6	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修一般図	番号	1 / 1
橋梁名	引野77号線2号橋		
工事箇所	福山市引野町三丁目地内		
福山市			

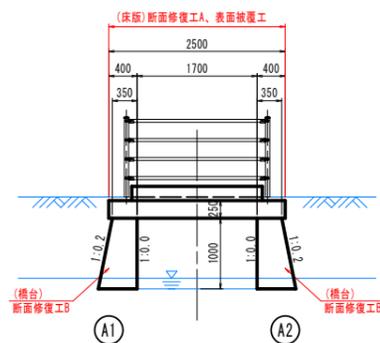


補修一般図 S=1:50

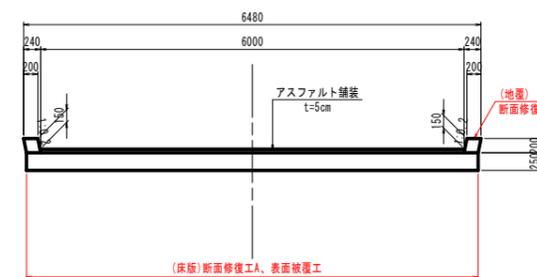
平面図



縦断面図



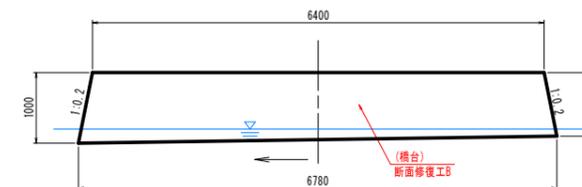
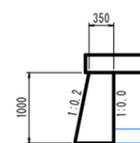
標準横断面



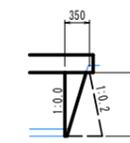
A1橋台

正面図

側面図(下流側)



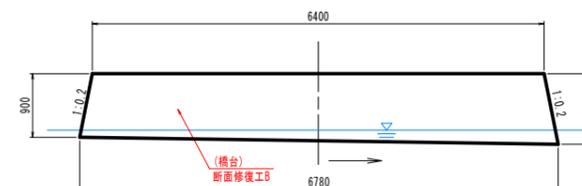
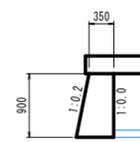
側面図(上流側)



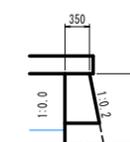
A2橋台

正面図

側面図(上流側)



側面図(下流側)



工種	対象部材	内容	
上部工	断面修復工A(左官工法)	床版	劣化コンクリートの除去及び鋼材防錆処理後、ポリマーセメント系材料にて復旧する。
	表面被覆工	床版	躯体表面を洗浄後、亜硝酸リチウム水溶液・高分子系浸透性防水材料を塗布する。
下部工	断面修復工B(左官工法)	橋台	劣化コンクリートの除去後、ポリマーセメント系材料にて復旧する。
	断面修復工A(左官工法)	地覆	劣化コンクリートの除去及び鋼材防錆処理後、ポリマーセメント系材料にて復旧する。

路線名	引野77号線
橋名	引野77号線2号橋
橋種	RC床版橋
橋格	不明
橋長	2.500m
有効幅員	6.000m
橋台形式	重力式橋台
竣工年	1965年(S40)
交差物件	普通河川 手城三吉沿川

注記
 1. 施工に当たっては現地計測の上、施工数量を決定のこと。
 2. 劣化部位の位置と範囲は、打音検査等により適宜確認のこと。
 3. ひびわれ注入工は開口幅 0.2mm以上を対象とし、0.2mm未満は補修を行わない。

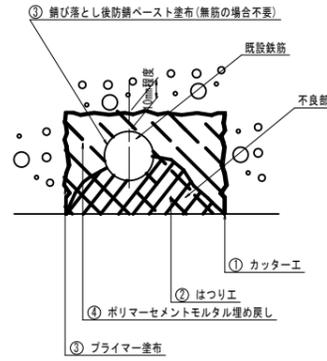
図面番号	3 / 6	縮尺	無し
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修詳細図	番号	1 / 1
橋梁名	引野77号線2号橋		
工事箇所	福山市引野町三丁目地内		
福山市			



補修詳細図

断面修復工

(A: 上部工・路面工 B: 下部工)



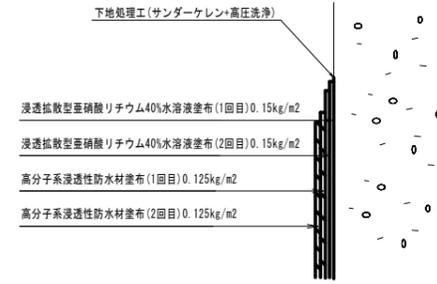
※ 施工手順

- 1 カッター切断
- ↓
- 2 コンクリートはつり
- ↓
- 3 断面修復用プライマー
- ↓
- 4 断面修復材にて塗り

注記)

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認のち施工箇所を決定すること。
2. 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷をあたえないよう周囲に深さ1cm程度コンクリートカッターにより切断目地を入れ、入念に施工する。
3. 使用材料
断面修復材
ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案) [工法別マニュアル編] 平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。
4. 断面修復深さは、5cmとする。

表面被覆工



※ 施工手順

- 1 下地処理(サンダーケレン)
: サンダーケレン+高圧洗浄などで表面を清掃。
: 断面補修等は事前に処理を行う。
- ↓
- 2 浸透拡散型亜硝酸リチウム(40%)塗布(2回塗り)
- ↓
- 3 高分子系浸透性防水材塗布(2回塗り)

注記)

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認のち施工箇所を決定すること。
2. 施工の適正気温及び養生方法を確認し、施工を行うこと。

補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工法
コンクリートの浮き、剥離 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40x0.20	断面修復工
剥落・鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40x0.20	断面修復工
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40x0.20	断面修復工
コンクリート表面劣化部	(Blue hatched pattern)	表面被覆工

注記) 施工に当たっては現地計測の上 施工数量を決定の事

材料表

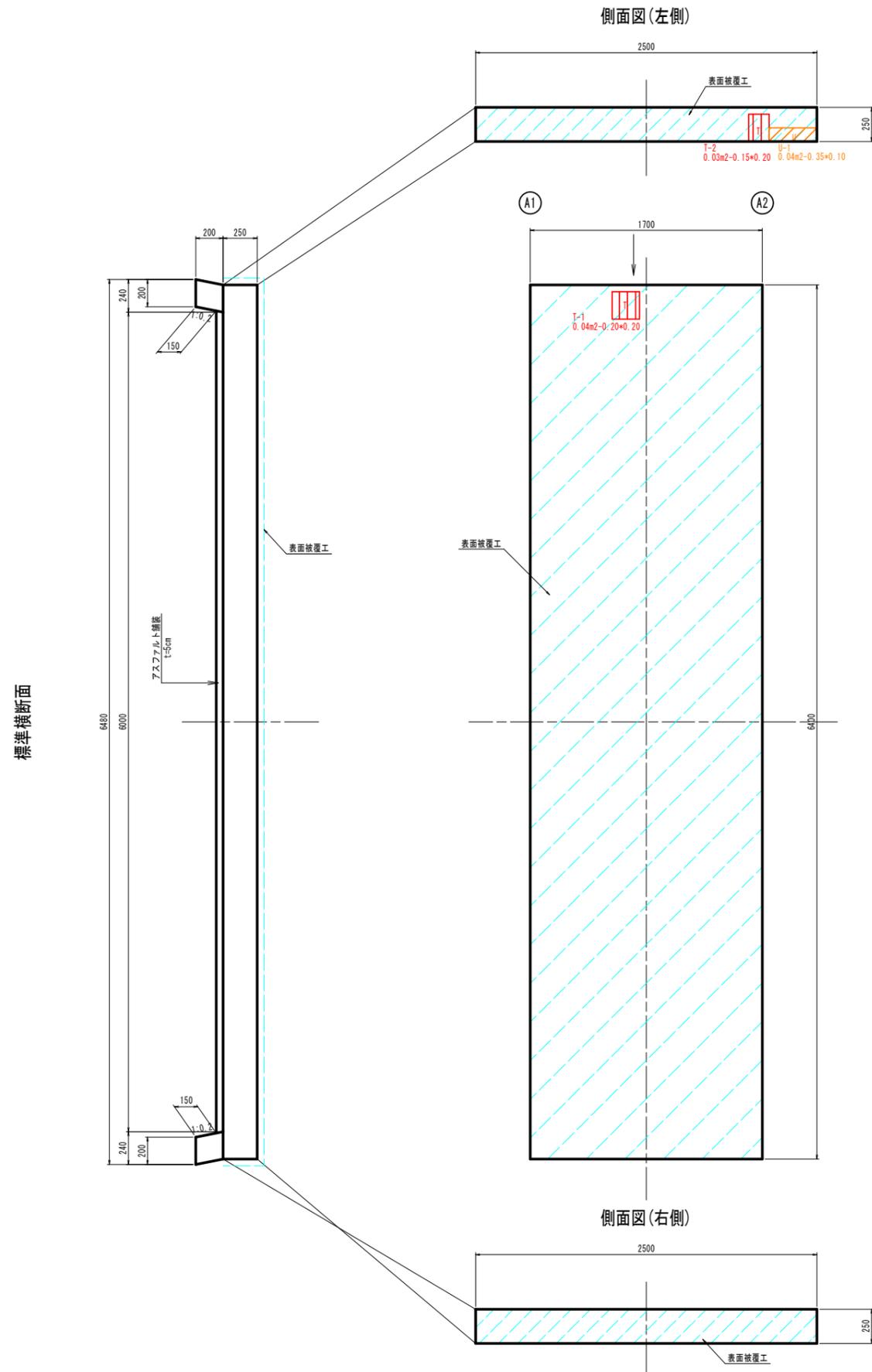
(1式)

工種	種別	規格・寸法	計算式	数量	摘要
断面修復工A	ポリマーセメントモルタル	1層t=50mm	数量計算書より	0.008 m ³	床版、地覆
断面修復工B	ポリマーセメントモルタル	1層t=50mm	数量計算書より	0.020 m ³	橋台

図面番号	4 / 6	縮尺	S=1:20
工種	橋梁修繕工事		
種別	上部工損傷図	番号	1 / 1
橋梁名	引野77号線2号橋		
工事箇所	福山市引野町三丁目地内		
福山市			



上部工損傷図 S=1:20



補修工法凡例		
損傷	記号	補修対策工法
コンクリートの浮き、剥離 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工
剥落・鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工
コンクリート表面劣化部		表面被覆工

注記) 施工に当たっては現地計測の上 施工数量を決定の事

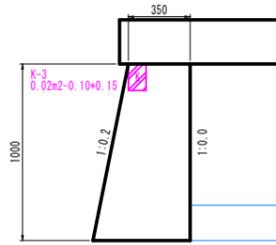
図面番号	5 / 6	縮尺	S=1:20
工種	橋梁修繕工事		
種別	下部工損傷図	番号	1 / 1
橋梁名	引野77号線2号橋		
工事箇所	福山市引野町三丁目地内		
福山市			



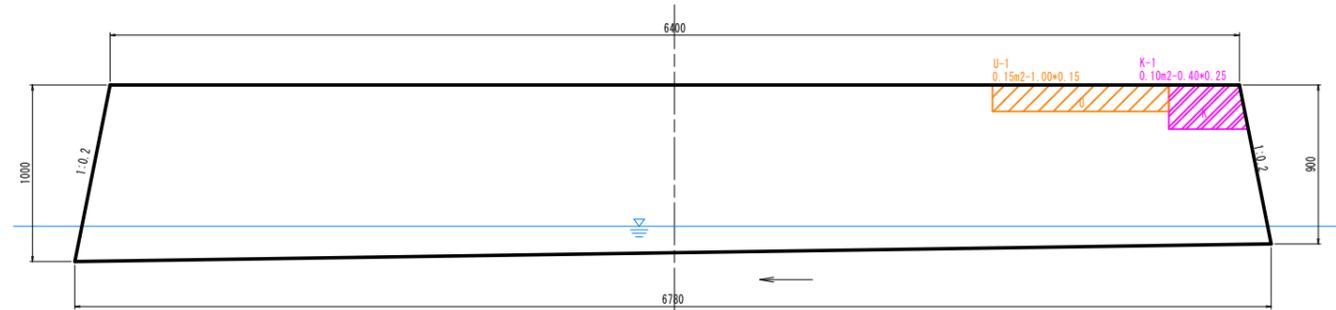
下部工損傷図 S=1:20

A1橋台

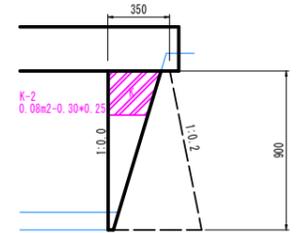
側面図(下流側)



正面図



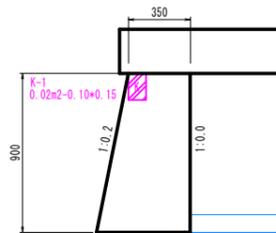
側面図(上流側)



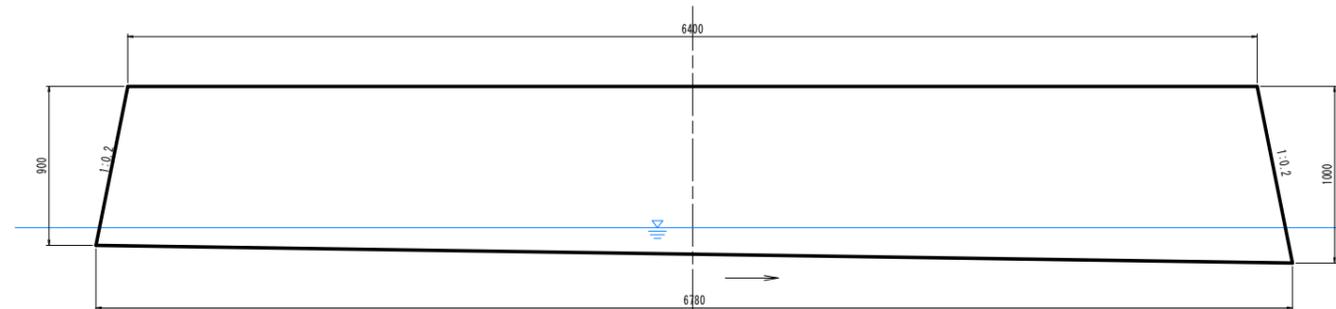
注記)
うきおよび欠損部は、はつり深さ5cmを想定しているが、
はつり作業時に不良コンクリートが確認された場合は除去すること。

A2橋台

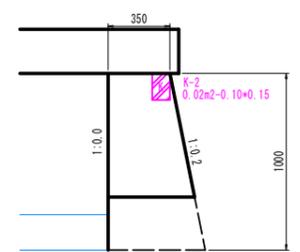
側面図(上流側)



正面図



側面図(下流側)



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工法
コンクリートの浮き、剥離 図中の数値は幅x高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40x0.20	断面修復工
剥落-鉄筋露出 図中の数値は幅x高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40x0.20	断面修復工
変形-欠損 図中の数値は幅x高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40x0.20	断面修復工
コンクリート表面劣化部		表面被覆工

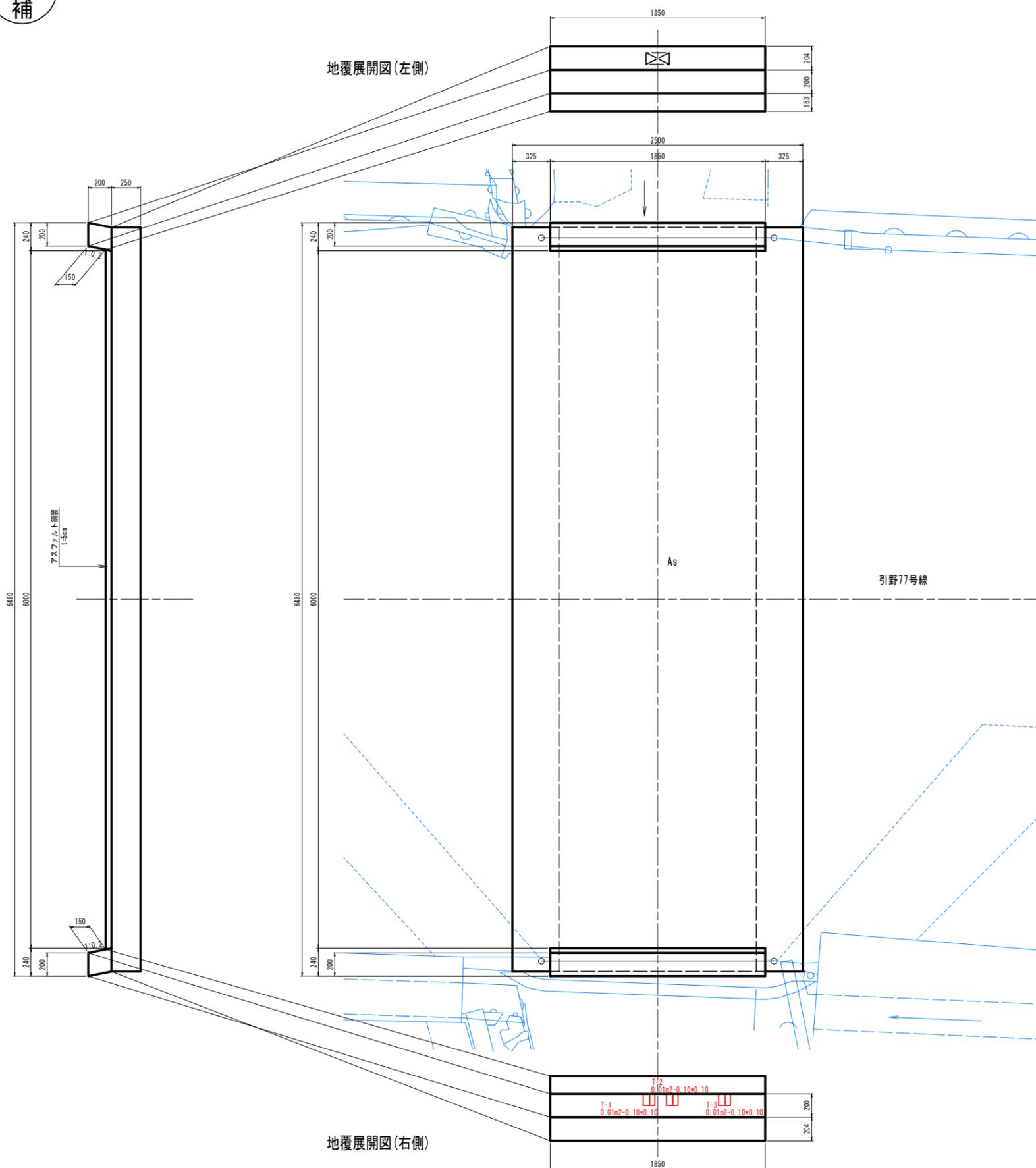
注記) 施工に当たっては現地計測の上 施工数量を決定の事

図面番号	6 / 6	縮尺	S=1:20
工種	橋梁修繕工事		
種別	路面工損傷図	番	1 / 1
橋梁名	引野77号線2号橋		
工事箇所	福山市引野町三丁目地内		
福山市			



路面工損傷図 S=1:20

標準横断面



補修工法凡例	損傷	記号	補修対策工法
コンクリートの浮き、剥離 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工
剥落・鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工
コンクリート表面劣化部			表面被覆工

注記) 施工に当たっては現地計測の上 施工数量を決定の事

参考図書

施工単価表

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0008 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 41.69% 労務構成比:

43.88% 材料構成比: 14.43%

市場単価構成比: 0.00%

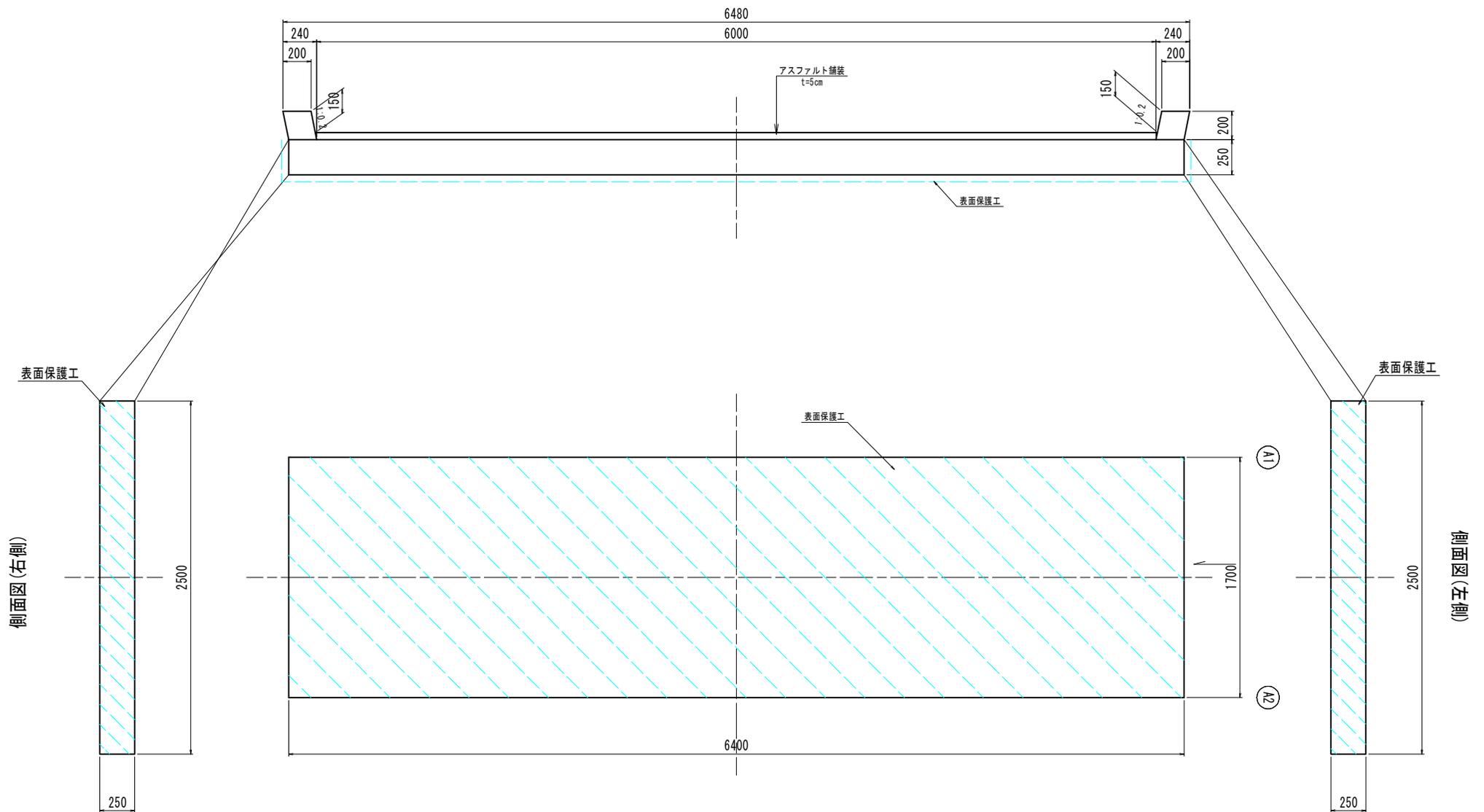
標準単価:

3,216.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=61 運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

4. 上部工表面保護工

標準横断面



4.上部工表面保護工

4-1. 床版

(施行形態) 下地処理: 高圧洗浄工およびサンダーケレン

表面塗布工: 浸透拡散型亜硝酸リチウム40%水溶液塗布(2回塗り)

表面被覆工: 高分子系浸透性防水材0.25kg/m²塗布

面積計算

単位:m²

名 称	種 別	細 別	計 算 式	面数	部材数	面 積	備 考
RC床版							
			1.700 × 6.400	1	1	10.88	
		側面(左側)	0.250 × 2.500	1	1	0.63	
		終点側側面	0.250 × 2.500	1	1	0.63	
		合 計				12.14	

6. 構造物撤去工数量

6-1 運搬処理工

1) コンクリート殻

断面修復工数量より

	(上部工)	(下部工)	(路面工)		
	0.006 +	0.020 +	0.002	=	0.03 m ³
W=	0.03 *	2.35	コンクリート塊(無筋)	=	0.1 t